

授業科目名	フロントエンド開発 I			年 次	2年										
				学 科	Web クリエイター科										
担当教員名	松岡 慎吾			開講年度・学期	2025 年度 ・ 通年										
授業の方法	実習	週時限数	2	年間授業時数	76 時間	科目区分 選択									
実務経験の有無	有	実務経験	国内小売業グループにおいて ICT 推進業務及びシステム開発業務に従事。												
授業の概要 (実務経験を活かした教育内容)	本科目では、モダンフロントエンド開発の主流となっている JavaScript ライブライ「React」について学習する。モダン JavaScript の基礎を十分に習得した上で、単一ページで完結するアプリケーション(SPA:Single Page Application)のしくみと実装方法を理解する。また、代表的な JavaScript ライブライやフレームワークについても触れ、現代のフロントエンド開発の全体像を把握する。														
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. モダン JavaScript (ES2015～) の主要機能を理解し、実装に活用できる。</li> <li>2. SPA (Single Page Application) のしくみを理解し、説明できる。</li> <li>3. コンポーネントベースのアーキテクチャの利点を理解し、説明できる。</li> <li>4. React の主要機能を理解し、ウェブアプリケーション開発に活用できる。</li> </ol>														
授業計画	月	内容													
	4	・モダン JavaScript 概説、SPA と従来の Web システムの違い、環境構築													
	5	・変数宣言、テンプレート文字列、アロー関数													
	6	・分割代入、デフォルト値、スプレッド構文、オブジェクトの省略記法													
	7	・配列メソッド(filter、find、map、reduce、sort)													
	8	—													
	9	• React 開発の始め方、JSX 記法 • 前期末試験実施													
	10	・コンポーネントの使い方、イベントやスタイルの扱い方													
	11	・Props、State													
	12	・React と CSS(Styled JSX、Styled Components)、MUI(Material UI)													
	1	• React Query、TypeScript、バージョン管理システム • 卒業試験実施													
	2	—													
	3	—													
成績評価の方法	前期(9月)と後期(1月)の定期試験および受講状況を以って評価する。 成績評価基準:優(100～90)・良(89～70)・可(69～40)・不可(39～0)														
準備学習・事後学習等	JavaScript の授業内容を振り返り、基本文法について復習すること。														
テキスト	モダン JavaScript の基本から始める React 実践の教科書(著者・じやけえ、発行所・SB クリエイティブ株式会社)														
参考書・参考資料等	なし														
その他 (学生に対する要望、メッセージ)	フロントエンド開発の技術が目まぐるしい変化を見せる中、React は「The State of JS 2024」のフロントエンドライブラリ部門において 9 年連続で利用率 1 位に選ばれ、最も支持されているライブラリです。モダン JavaScript の基礎を十分に習得した上で、コンポーネントベースの設計思想や React の活用方法を学習することで、Web エンジニアとしての価値を高めましょう。														